



岐阜県の森林・林業

No.877

2026 October

FREE

ご自由に お持ちください。



森のたより

最新技術で、都市の木造化！
(10月は木材利用促進月間)



外壁には防火性能を有した
羽目板「ヒバリ」を使用

岐阜県産材ヒノキ・スギを使用した「重ね梁」を使用

開催日	行事名等	内 容 等	場 所
			申込(問合せ)先/TEL
11月13日(金)	第6回狩猟免許試験(わな)	狩猟免許取得のための試験を実施します。 ●時間: 9:30~17:00 ●申込: 10月9日~10月23日 ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。	中濃総合庁舎
			各地域を所管する県事務所等、または自然環境課 TEL: 058-272-8231



イベントカレンダー(一般向け).....	2
「ぐじょう」木遊館 森のくじら」開館！.....	3
木造建築に関する相談窓口.....	4
わが組合の頑張るフレッシュヤーズ.....	5
白山白川郷ホワイトロードの紅葉.....	6
水源地域において、土地の売買等又は開発行為をする場合は事前の届出が必要です.....	6
保安林における制限・立木の伐採の制限・工事事前の手続きが必要です.....	7
航空レーザ測量データのオープンデータ化.....	7
治山・林道技術成果ー安全対策に考慮した治山ダム型枠の選定についてー.....	8
地域レポ 職員全員で林業のDX化を目指す.....	10
山の歳時記 ²⁵⁴ 水の硬度と料理.....	11
ぎふ木遊館通信.....	12
morinosプログラム紹介!!.....	13
シリーズ「森林・環境税で、緑豊かな清流の国ぎふづくり」 ⁽⁶⁾	14
木の香るぎふの施設 ⁽¹⁶⁾ 白川町役場庁舎.....	15
森林と人を活かす知恵 ⁽¹⁶⁵⁾ 子どもの作業用手袋を考える.....	16
研究コーナー.....	17
下層植生タイプに基づくヒノキ人工林の生態的管理を考える ⁽²⁾	17
普及コーナー 揖斐管内における主伐・再造林に対する支援.....	18
森林技術開発・支援センター 林業普及通信.....	19
私、この現場の担当です！.....	20
回顧 あの日、あの時.....	20
イベントカレンダー(林業者向け).....	21
市況.....	22

目次 Contents

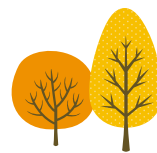
今月の表紙



写真は、名古屋市中心部で建設された木造建築(施設名: kinobi Meieki、建築主: 名鉄都市開発株)。岐阜県内で開発された木質部材と建築工法を採用。都市の木造化は脱炭素社会の鍵。10月は「木材利用促進月間」です。

『ぎふ木遊館』サテライト施設

「ぐじょう木遊館 森のくじら」開館！



県では、森や木に親しみ、学び、行動する人を育てる「ぎふ木育」の総合拠点として、令和2年度に「ぎふ木遊館」を整備しました。より多くの方に木育を体験していただくためサテライト施設の整備を進めており、中津川市、高山市に続く第3号施設として、「ぐじょう木遊館 森のくじら」が9月5日、郡上市大和町に開館しました。

施設は旧大和第一北小学校の体育館を改修したもので、館内は「森に帰ったクジラ」をコンセプトとしており、約10メートルのザトウクジラの大型模型が設置され、壁面には、山から川へ、そして海へとつながる自然の豊かな営みが描かれています。また、すべり台や木玉プール、ボルダリングなどの大型遊具や、木のぬくもりを感じられる木製玩具が数多く配置されています。

当施設は雨や雪の日でも天候を気にすることなく、いつでも木育を楽しめる施設です。皆様ぜひ利用ください！

記念式典・内覧会の様子



記念式典



内覧会での竹下景子さんによる
読み聞かせ風景



遊具で遊ぶ子どもたち

主な遊具等のご紹介



クジラの大型模型



すべり台などが楽しめる大型遊具



木玉プール

ご利用案内

所在地：郡上市大和町万場1950

利用料：郡上市内：無料/郡上市外：大人500円、子ども200円

休館日：毎週水曜日/毎月第1、3木曜日/12月28日～1月4日/祝日の翌日

予約：事前予約制（第1部 10:00～11:30 第2部 13:00～14:30 第3部 15:00～16:30）



詳細・お申し込みは
施設の公式ページへ
(二次元コードから)



ぎふ木造建築相談センター

相談は
無料です。

木造建築に関する相談窓口



あすはちゃん

一般住宅では約8割が木造で建てられていますが、店舗や事務所などの非住宅の建築物では木造は1割程度にとどまっています。その理由として、非住宅の木造建築の設計や構造計算ができる建築士が少ないことや、木材の調達に関する知識や経験が不足していることが挙げられます。

こうした課題に対応するため、岐阜県から委託を受け、令和4年5月、岐阜県木材協同組合連合会内に「ぎふ木造建築相談センター」が設置されました。木造建築に関する様々なご相談に専門家(建築士)がワンストップで対応しており、年間400件以上の相談を受けています。木造建築に関する不安や疑問には、ぜひ当センターをご利用ください。

■センターの業務内容

当センターには、長年にわたり非住宅建築物の構造計算に携わってきた経験豊富な建築士が相談員として常駐しています。また、岐阜県との定期的な情報交換を行っているほか、木材協同組合連合会内に設置されていることから、木材の調達に関する情報も豊富で、幅広い相談に対応できる体制が整っています。

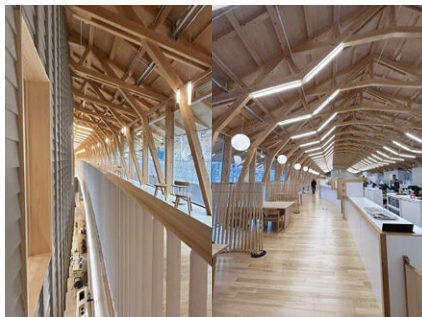
- 木造建築に関する技術的相談(基本設計、構造計算、防耐火技術)への対応
- 県産材の調達や加工技術
- 最新の木造技術・法令・基準に関する情報提供
- 木造建築の事例紹介や普及啓発活動
- 現地での技術的な指導・助言
- 各種補助制度の紹介
- 建築士向けレベルアップ研修

■これまで相談実績

(件)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(8月末)
相談件数	400	415	427	420	192
物件数	89	77	49	87	35

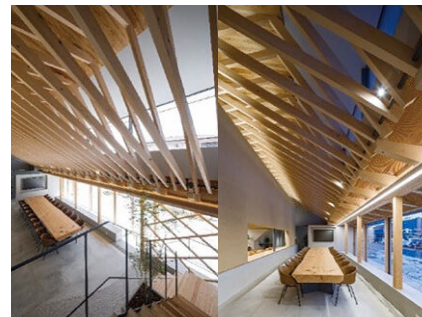
【完成物件のご紹介】



白川町役場庁舎
一般流通材を活用したトラス架構



恵那南中学校
岐阜県内初の木造3階建校舎



金子建築工業(株) 楽園住宅新事務所
一般流通材を活用したトラス架構

■問い合わせ先

岐阜県木材協同組合連合会内「ぎふ木造建築相談センター」

TEL : 058-271-9941 Mail : furuta@gifu-mokuzai.jp

相談対応 : 毎週 月～金 9:00～17:00



わが組合の頑張るフレッシュヤーズ

【加子母森林組合（中津川市）】

水野 嘉信さん 2005年入社（愛知県小牧市出身）



左：細川組合長 右：水野さん

【林業就業のきっかけ】

前職は自営で鉄筋工をしていました。

自然が好きで、狩猟免許を取得したことで山に興味を持ちました。

山の知識も勉強でき、狩猟にも活かせるの思いから森林組合に就職を決めました。

【就業しての感想】

体力には自信がありました但实际上働いてみると慣れるまで筋肉痛に悩みました。

現場では、同じ状況が全くないの

で、しっかりイメージしてその通りに伐倒が決まった時の喜びは最高です。



伐採作業中の水野さん

【自信がついてきた仕事は？】

伐倒と造材には自信があります。

ただ倒すだけではなく、どこに倒して、どう集材するかイメージを持って作業することが出来るようになりました。

造材のときもまっすぐ伐れるようになってきました。

【仕事の楽しさ】

間伐遅れの薄暗い山が整備によつ

て明るくなり、人も野生動物も気持ちよく生活出来るようないい山が増えていくと良いと思っています。

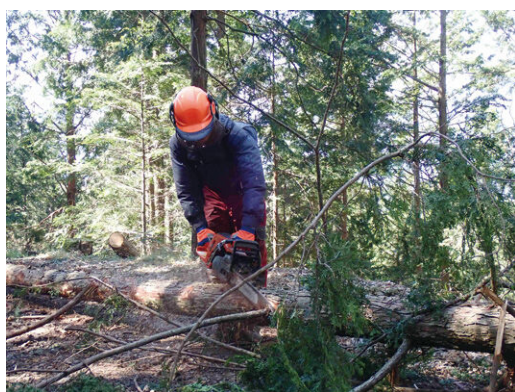
移住により大変なところもあるが、近所とのふれあいも大切にして頑張っているの、今後も身体に気をつけて、より躍進していってほしいと思います。

【今後の抱負】

絶対にケガをしない！

そのために技術と判断力を身に付けて行きたいです。

しっかり働いて、しっかり遊べるよう今後も頑張っていきます。



枝払いをする水野さん

【組合長から林業を志す人へのメッセージ】

「森林を守る」これは川上から海までの大きな課題です。また、整備された森林は、二酸化炭素の吸収に大きな効力を発揮しています。

一緒に「川上の森林」を守りましょう。

【組合長からのエール】

色々なことにチャレンジし、仕事の効率と安全を常に考えて行動してくれています。



造材をする水野さん

詳しい内容を知りたい方は
TEL 0575-129138668

「森のジョブステーションぎふ」まで

白山白川郷ホワイトロードの紅葉

白山白川郷ホワイトロードは、例年10月中旬に紅葉の見頃を迎えます。赤く染まる広葉樹と常緑の針葉樹が織りなす景色は、この季節ならではの鮮やかさです。

なかでも「白川郷展望台」では、山一面の紅葉が一望できるほか、ブナの原生林を歩きながら、間近で紅葉を楽しむことができます。さらに、早朝には雲海が広がることもあり、幻想的な風景をご覧いただけることもあります。

展望台デッキにライブカメラを設置しており、紅葉の進み具合や雲海の発生状況などをご自宅からもご覧いただけます。あわせて、災害等による通行止め情報も公式ホームページで随時更新していますので、お出かけの際は、ぜひ事前にご確認ください。

通行料金

	片道料金
軽自動車	1,400円
普通自動車	1,700円
マイクロバス	5,000円
大型バス	11,000円

営業期間 11月10日(火)まで(予定)

利用時間 8時～17時(出口閉門時間 18時)

ただし、9月26日(土)から10月18日(日)までは、「秋のモーニングタイム」(利用時間7時～17時)を実施します。※岐阜県側のみ実施

ホームページ <https://hs-whiteroad.jp>



紅葉のホワイトロードと雲海

お問い合わせ先

(公社)岐阜県森林公社 白山林道岐阜管理事務所
TEL/FAX 05769-6-1664

【森林保全課 水源林保全係】

水源地域において、土地の売買等又は開発行為をする場合は 事前の届出が必要です

岐阜県の豊かで清らかな水は、県民の財産です。

この水を後世に引き継いでいくためには、その源である水源の保全に取り組んでいく必要があります。

岐阜県では、水源地域の保全のために土地が適正に利用されることなどを目的として「岐阜県水源地域保全条例」を制定しています。

この条例に基づき、令和8年3月末現在、22市町村、281箇所、約7万haの森林が水源地域に指定されています。

水源地域に指定された土地の売買等を行う場合には、その契約の30日前までに県への届出が必要です。

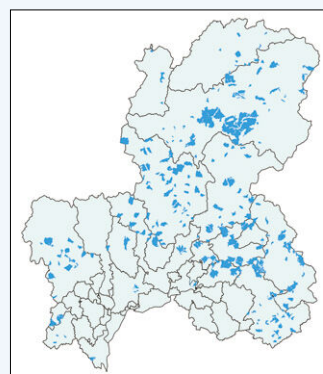
また、1ha以下の開発(林地開発許可または保安林内作業許可の対象となる開発を除く)や、建物等の設置、水を採取するための設備の設置を行う場合は、その行為を行おうとする60日前までに県への届出が必要です。

水源地域の位置や届出の詳しい内容は、岐阜県ホームページでご確認ください。

岐阜県水源地域保全条例

検索

この条例は、水源林が私たちの知らないうちに売買されたり、違法に伐採・開発されたりすることを防ぐために重要な役割を果たしています。その趣旨をご理解いただき、事前の届出にご協力をお願いします。



水源地域の指定状況



水源林(恵那市中野方町)

保安林における制限

～立木の伐採の制限～

必ず事前の手続きが必要です

保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊・流出の防備、その他生活環境の保全・形成等特定の公益目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定された森林です。

保安林では、それぞれの目的に沿った森林の機能を確保するため、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されています。

立木の伐採の制限については以下のとおりです。

【立木の伐採の制限】

保安林内の立木の伐採をする場合は、許可又は届出など事前の手続きが必要です。

また、皆伐を行う場合は、伐採現場に伐採旗の設置が必要となります。

詳細は、所管する農林事務所にお問い合わせください。

伐採方法		手続き方法	手続期間	提出先
主伐	択伐	天然林は許可が必要	伐採を開始する日の30日前までに申請	所管する農林事務所
		人工林は届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	所管する農林事務所
	皆伐	許可が必要	皆伐限度面積の公表の日（年4回）から30日以内に申請	所管する農林事務所
間伐		届出が必要	伐採を開始する日の90日から20日前までに届出	市町村

注意事項

- (1) 伐採が禁止されている保安林があります。
- (2) 主伐（択伐・皆伐）は、市町村森林整備計画で定める標準伐期齢に満たない立木は伐採できません。
- (3) 皆伐限度面積の公表の日は、2月1日、6月1日、9月1日、12月1日（これらの日が休日の場合は、その翌日。）の年4回です。
- (4) 間伐は、樹冠疎密度（林地面積に対する立木の樹冠投影面積との比率）が80%に達していない森林では行うことはできません。

●詳しい内容を知りたい方は TEL 058-272-1111 内線（4413または4414） 森林保全課森林管理係まで

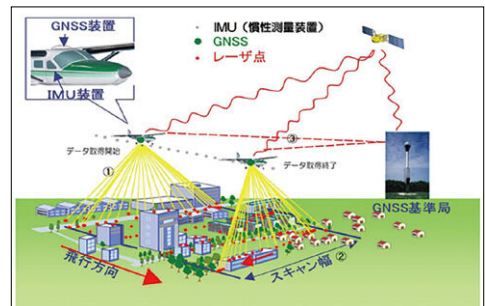
航空レーザ測量データのオープンデータ化

岐阜県林政部森林保全課では、山地の詳細地形や災害発生時の地形変化把握を目的として、県内の民有林全域について、平成25年度から航空レーザ測量による3次元地形データの取得を進めてきました。このデータは、地形や森林の分布を高精度で捉えることができ、治山計画の策定や災害対策のほか、多方面で活用されています。

このデータは令和7年度から、利便性の向上と利用促進を目的に「県域統合型GISぎふ」内にて公開しています。

航空レーザ測量の仕組み

- ① 航空機からレーザ光を地上に照射し、反射して戻るまでの時間を計測して距離を測定
- ② レーザ光を左右に振りながら、帯状に地表面の標高を算出
- ③ 全地球測位システム（GNSS）や慣性測量装置（IMU）などを併用し、航空機の高度・位置・傾き等を正確に把握
※高さの精度は±15cm程度



※出展：国土地理院ウェブサイト
(<https://www.gsi.go.jp/common/000143680.pdf>)

1 公開データの概要

下記の3種類の3次元地形データを公開しています。

- ① オリジナルデータ…航空レーザ測量により得られた、樹木や建物、地表面の位置と高さを計測したデータ
- ② グラウンドデータ…オリジナルデータから樹木や建物などを除いた地表面のみの位置と高さを示したデータ
- ③ グリッドデータ…グラウンドデータを補完し、地表面の位置と高さを0.5m毎の格子状に示したデータ

2 データの閲覧・取得方法

- ① 右のURL（「県域統合型GISぎふ」ウェブサイト）にアクセス <https://gis-gifu.jp/gifu/Map?mid=7>
- ② 利用規約に同意
- ③ データが図郭単位で表示されるため、閲覧したい図郭をクリック
- ④ 画面左にzipファイルが表示されるため、クリックしてダウンロード

3 その他

- ダウンロードデータはText形式またはCSV形式のため、GIS上で表示するには一般的なGISアプリケーション等の環境が必要です。
- 測量法第43条及び第44条に該当する複製・使用申請の場合、測量データを有する測量計画機関の承認を得る必要があります。
詳しくは右のURL（岐阜県ホームページ）の「概要」欄をご確認ください。 <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/449150.html>

●お問い合わせ先 TEL 058-272-8496 森林保全課 治山係

治山・林道技術成果

治山、林道の各研究会では、日頃の業務で直面する課題について、調査・研究等の取り組みを行っています。令和8年2月に行われた発表会で発表された取り組み成果を紹介します。

—安全対策に考慮した治山ダム型枠の選定について—

飛騨・下呂・恵那ワーキンググループ

◎テーマに至った背景

岐阜県では、森林の保全や土砂災害の防止を目的として治山ダムが整備されています。これらの工事ではコンクリートを成形するために「型枠」を使用しますが、近年は施工中の豪雨による土砂流入が大きな課題となっています。



谷止工施工時の被災状況

特に飛騨地域や恵那地域では、平成30年豪雨や令和2年7月豪雨などの大規模災害が発生しており、施工業者の安全意識も高まっています。施工途中で型枠が土砂に埋まると、人力による土砂撤去や型枠の再施工が必要となり、工事費や作業負担が大幅に増加します。

このような背景から、近年は「残存型枠」と呼ばれる、コンクリート打設後も撤去せずに構造物の一部として残す型枠が注目されています。残存型枠は脱型作業が不要であり、施工期間の短縮や災害時の損失軽減が期待できます。そこで本研究では、残存型枠の特徴を整理するとともに、その有効性について検討しました。

◎対象とした残存型枠

今回比較したのは、特殊金網製残存型枠、プレキャスト製残存型枠、

軽量鋼製枠併用木製残存型枠の3種類です。

特殊金網製残存型枠は非常に軽量で、重機の搬入が困難な狭い現場でも施工しやすいという特徴があります。部材が軽いため作業者の負担も少なく、施工業者から高い評価を得ています。一方で材料費が高く、コンクリートが金網から染み出す構造であるため、完成後の表面に凹凸が生じやすいという課題があります。

プレキャスト製残存型枠はコンクリート製の製品であり、品質が安定していることや施工手順が簡単であ

ることが利点です。しかし1枚当たり約60kgと重量があり、施工にはクレーンなどの重機が必要となり、施工場所が限定されます。木製残存型枠は軽量鋼製枠に平割材を取り付ける構造で、県産材を多く利用できることが特徴です。木材使用量は従来のヒノキ合板型枠の約10倍とされ、森林資源の有効活用にもつながります。一方で、木材の反りや曲がりによる調整作業が必要であり、耐久性についても十分な検証が求められています。

○アンケート結果

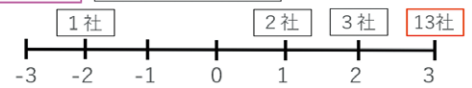
7段階評価

0 = 治山ダム型枠

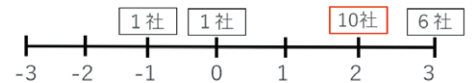
①特殊金網製残存型枠

回答業者：19社

【施工性】



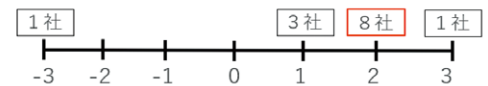
【安全性】



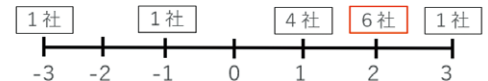
②プレキャスト製残存型枠

回答業者：13社

【施工性】



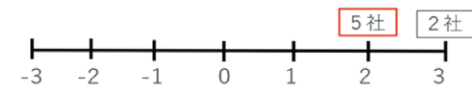
【安全性】



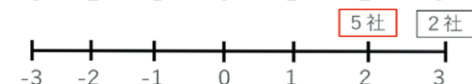
③軽量鋼製枠併用木製残存型枠

回答業者：7社

【施工性】



【安全性】



◎アンケート調査結果

本研究では、飛騨・恵那地域の施工業者47社を対象にアンケート調査を実施し、そのうち33社から残存型枠の使用経験に基づく回答を得ました。評価項目は「施工性」と「安全性」であり、通常の治山ダム型枠を基準として7段階評価を行いました。

特殊金網製残存型枠は施工性において特に高い評価を得ており、多くの施工業者が最高評価を付けています。軽量で組立てが容易なことが主な理由です。

プレキャスト製残存型枠も比較的高評価でしたが、重量があることから安全性ではやや低い評価が見られました。

一方、木製残存型枠は突出した評価こそ少ないものの、低評価がほとんどなく、施工性と安全性の両面で安定した評価となりました。

自由記載には、メリットとしては、すべての残存型枠に共通して脱型作業が不要であること、工期短縮につながるなどが挙げられました。一方、デメリットとしては、金網製では材料費や見た目の問題、プレキャスト製では重量による施工制約、木製では木材の品質のばらつきなどが指摘されています。

高所での解体作業が不要になるこ



完了後



施工中

とは、全ての型枠に共通する大きな利点でした。転落や落下物事故のリスクを低減できるため、安全面での

効果は非常に大きいと考えられます。

◎施工実証と考察

残存型枠の有効性を確認するため、下流側をヒノキ合板型枠、上流側を残存型枠とした実証施工を行いました。その結果、プレキャスト製、特殊金網製、木製のいずれの場合も施工上の大きな問題は確認されませんでした。

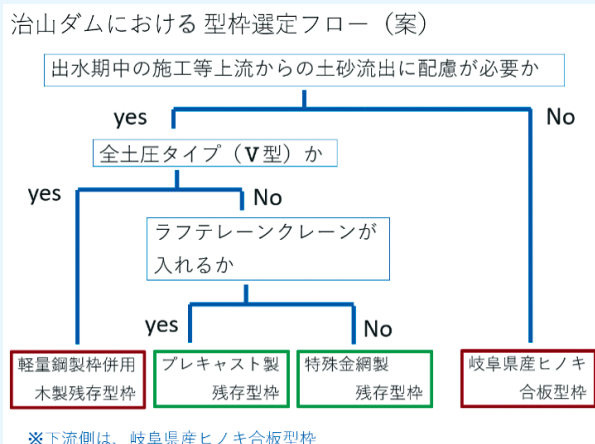
特に上流側へ残存型枠を配置することで、施工途中に土砂が流入した場合でも型枠の損失を抑えられる可能性が示されました。

現場条件による適性を見ると、広い施工スペースが確保できる場合はプレキャスト製、狹隘な山間部では特殊金網製、木製残存型枠が有効であると考えられます。

◎結論

本研究の結果、ヒノキ合板型枠と各種残存型枠を組み合わせて施工することに大きな問題はなく、現場条件に応じた柔軟な選択が可能であることが確認されました。特に土砂流出の危険性が高い谷止工では、上流側に残存型枠を採用することで施工中の被害軽減や安全性向上が期待できます。

また、アンケート調査からは、残



存型枠が工期短縮や安全性向上に与えることが明らかとなりました。中でも木製残存型枠は、施工性と安全性のバランスが良く、県産材利用の促進にもつながることから、今後有望な選択肢の一つと考えられます。

今後は、施工条件や災害リスクに応じて適切な型枠を選定し、安全性、経済性、地域材利用の三つを両立させた治山ダム整備を進めていくことが重要であると考えられます。

●詳しい内容を知りたい方は
TEL 0576-15213111

下呂農林事務所 林業課 治山林道係まで



職員全員で林業のDX化を目指す

有限会社 フォレスト板取

今回は、平成15年に創業し、主に関
市板取を拠点として、森林所有者と
の信頼関係を大切にしながら、造林・
保育・素材生産などの森林整備、G
クレジットに取り組んでいる有限会社
フォレスト板取の社員の皆様にお話を
伺ってきましたので紹介します。



有限会社フォレスト板取は、代表取
締役の長屋一昭さん以下現場社員の
2名と事務系社員1名、臨時2名の小

規模な会社です。長屋さんは、日頃か
ら社員一人一人が、オールマイティに
仕事を行ってもらいたいと願っていま
す。

ここ1〜2年前から、雨天時等の現
場作業を行えない時でも社員全員が活
躍できるように林業のIT化・DX化
に取り組んでいます。

●現場業務を省力化

平成21年に入社して今年で18年目と
なる松沢英治さんは、安全管理につ
ながる作業計画書の作成システム化に
取り組んでいます。こちらは山にスマ
ホを持っていき、現場の概況をスマホ
のツールに打ち込むだけで作業計画書
が作成できるように工夫されている
ので、以前のように現場で野帳に記入
し、事務所で書類を作成するという手
間が省けて省力化が図られています。

●現場も事務も両方できる

平成29年に入社して今年で10年目と
なる柴田開斗さんは、事務職として採

用されましたが、年間1000日程度は
森林作業道の開設を行っています。そ
の他、測量や現場管理、補助金申請書
の作成等の事務も行いオールマイティ
に仕事をこなしています。

●前職の経験を生かして

令和3年に入社して今年で6年目と
なる武田剛和さんは、以前はIT企
業に勤めていました。その経験を生か
し、日報管理・調査・補助金計算をパ
ソコンとスマホで行えるようにシステ
ムを構築しました。こちらも携帯電話
の電波が届かない山でも使えるよう
にシステム化されています。入力が選択
制のため、スマホの画面でも簡単に操
作できます。

項目	金額 (円)
補助金総額 (合計)	214,812
国庫補助金	161,109
県庫補助金	53,703
市庫補助金	0
国庫補助金 (内訳)	161,109
県庫補助金 (内訳)	53,703
市庫補助金 (内訳)	0

補助金算出ツールの入力・算出画面

林業作業の現場となる山では、携帯
電話の電波が繋がらない場所が多いこ

とから、今年度連絡・通信手段の確保
のため衛星通信機器を導入しました。
導入機器について管内の事業体へも広
く知ってもらうために同社主催で「林
業労働安全研修会」を開催しました。
このように、社長自ら会社の情報の
発信を行い、林業の課題解決に取り組
んでいます。



衛星通信端末 Garmin inReach Messenger Plus

補助金算出ツールについて今期は試
験導入期間です。ご興味のある方で、
ツールを試してみたい方はお問い合わせ
ください。

最後に、同社の益々の業務改善・工
夫に期待しています。

●詳しい内容を知りたい方は
(有)フォレスト板取

TEL0581-57-7022

【中濃農林事務所 神戸】

YAMA NO SAIJIKI
254
山の歳時記
水の硬度と料理
文：樹木医・日本森林インストラクター協会 理事
川尻 秀樹

郡上市白鳥町の阿弥陀ヶ滝からつながる前谷川を前に、「この水で素麺食べたらいよいよね」と話しました。

2018年の日本陸水学会東海支部会の報告によれば、阿弥陀ヶ滝の水は硬度14のクリアな軟水だそうです。前回紹介したように、水の硬度は水1リットルに含まれるカルシウムとマグネシウムの量を、炭酸カルシウムの質量に換算したもので、合計60ミリグラム（0・06グラム）以下は軟水とさ

れます。

玉露や抹茶の芳香や旨味を引き出すには軟水が最適です。緑茶ほどではありませんが、紅茶は硬度100以下が理想的とされ、硬度300以上では芳香がなくなり、硬度500以上ではアクが浮いて白濁するとされます。

コーヒーは硬水で香りが少し減るものの、苦味が緩和されてまろやかになります。このため硬水地域のイタリアやフランスではエスプレッソが好まれ、軟水地域のイギリスでは紅茶が好まれるのです。

調理方法についてみると、フランス料理は水よりもワインやミルクで煮込んだり、ソテーするものが多くです。これに対して日本料理で「出汁」を重視するのは、軟水のため水に溶け易い旨味成分（昆布のグルタミン酸、鰹節のイノシン酸、シイタケのグアニル酸など）を抽出しやすいからです。

もしも硬水で出汁を取ろうとすれば、旨味成分の一要素であるタンパク質とカルシウムが結合して、アクになってしまう可能性が高くなります。

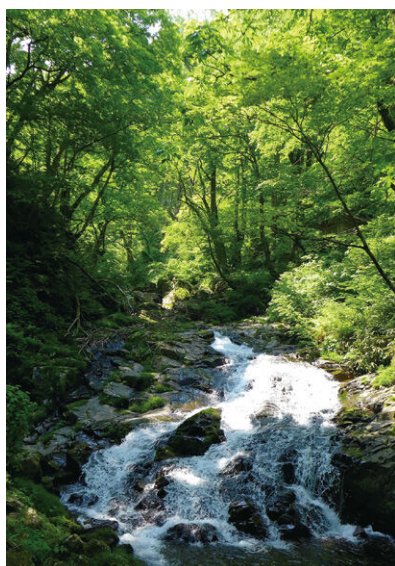
硬水で料理すると、カルシウム類が植物組織を硬化させるため、お米を炊けばパサパサになり、煮物野菜は煮くずれずに仕上がります。逆に軟水で料理すると煮くずれし易いものの、米や煮物野菜類の表面に膜をつくらないため、深く浸透して旨味やスープを引き出します。これが日本料理で煮物、汁物、茹物が多い所以です。

また反対に、硬いスジ肉などを柔らかく煮込みたい時は硬水を用いると、タンパク質とカルシウムが結合して肉を硬くするタンパク質をアクとして遊離してくれます。他にも、米のデンプンを糖化する麹菌は、適度な硬水

で活発に活動し、日本酒は硬度が高い水で仕込むと辛く、低いと甘くなる傾向があります。

ヨーロッパでワインづくりが盛んなのは、水を使わずブドウのみでつくれるからです。逆に軟水であるイギリスは、日本の日本酒同様に水をつかったウィスキーづくりが盛んになったのです。

さて私は、「前谷川の水で素麺をゆで、出汁をとれば相当美味しいうな」と想像しつつ、その場を後にしたのです。



阿弥陀ヶ滝から流れ出た前谷川の清流

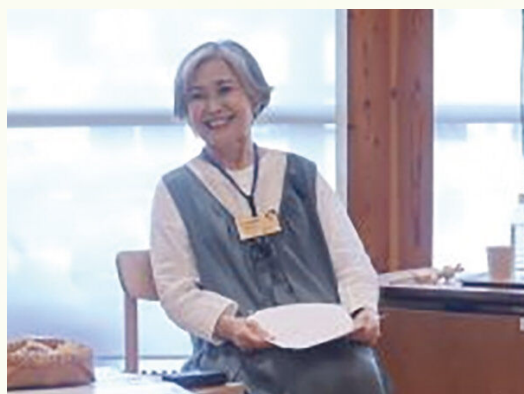
ぎふ木遊館通信

8月9日(日)ぎふ木遊館2026サマーフェスタを開催しました!

俳優で名誉館長の竹下景子さんと木工デザイナーであり、長年にわたり北海道で木育に取り組むKEM工房主宰煙山泰子さんがぎふ木遊館に訪れました!



木のおもちゃ「タマコロ・ファミリー」について語る煙山泰子さん



笑顔で語る竹下景子さん

第1部では、竹下名誉館長のナレーションにより、岐阜県の森を映像で紹介する「飛山濃水 ぎふの森と水を巡る旅」、竹下名誉館長と煙山さんのトークライブ「木と生きる～ものづくりから木育へ～」を行いました。

トークライブでは、幼いころからものづくりが好きだった煙山さんに、木との出会いや木工に携わってきた人生、そして木育との出会いについてお話をいただきました。また、北海道における木育の取組についてもご紹介いただきました。

煙山さんにとって「木育」とは「子どもをはじめとするすべての人が木とふれあい、木に学び、木と生きる取り組みです。それは子どもの頃から、木と身近に触れ合うことによって、人と木の関わりとか、森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。」と伝えられました。

煙山さんの話を受けて、竹下名誉館長は「人は心の中に1つ森を持っています。その森を自分たちのやり方で育てていける感性を大切にしていきたい。」とお話されました。最後に煙山さんも「一人一人の心の中に「木育」の苗を植え、大切に育てていくことで、人がみんな違うように多様な人の森が生まれます。人の森と緑の森が繋がったら、とても素敵だと思います。」とお話されました。

第2部の木育プログラム「もくぞうくんをつくろう!」では、「ぎふ木遊館オータムフェスタ」屋外プログラムの人形劇で使用する人形作りなどを行いました。木の枝や実など自然素材等を使って自由にデコレーションし、素敵な人形を作りました。また、作成した人形を使って人形劇遊びも行いました。

第2部、第3部ではいつもの木育ひろばの遊びに加えて、魚に触れる「おさかなタッチプール」や、裸足になって森を感じる「はだしのトレイル」も行いました。



木育プログラム「もくぞうくんをつくろう!」

ぎふ木遊館公式Instagramのご紹介

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報、館内の様子や木のおもちゃの話等を公式Instagramにて発信しています!

まだ来館したことない方も当館の様子がわかりますので、ぜひチェックして、フォローをお願いします。



GIFUMOKUYUKAN0717



やがてみんなの森になる

morinos

プログラム紹介!!

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（morinos）では、保育士や教員、自然体験活動指導者の方などにに向けたスキルアップ講座を実施しています。今回は、ひだ木遊館 木っずテラスにて開催したプログラム『めざせ!生きもの天国ビオトープ～生きものたちの楽園 湧き水池をつくろう!』の出前指導の様子を紹介します。

<ひだ木遊館 木っずテラスで湧き水池づくり!>

ひだ木遊館 木っずテラスは、高山市と地域団体が連携して運営する、飛騨の森林文化や木の魅力を楽しみながら学べる木育拠点施設で、岐阜県の木育施設「ぎふ木遊館」のサテライト施設として令和6年度にオープンしました。今回は、ひだ木遊館 木っずテラスのスタッフの方とともにプログラムに参加し、施設の敷地内で見つかった湧き水を活用した池づくりに挑戦しました。

まず、湧き水が現れるポイントや水の流れを自分たちの目で観察し、山からの水が、豊かな森林を通じて、人々の暮らしの近くまで届けられていることを体感しました。

続いて、湧き水の流れる場所で生きもの調査を実施。小さなタモ網を使ったり、水の中に手を入れて探したりしながら、生きものたちの活動を観察しました。サワガニやヤゴ、トビケラ類など、綺麗な水環境を好む生きものたちを見つけ、生きものと水質に深い関係があることを学びました。



湧き水ポイントで生きもの探し



水路に石を張る参加者

その後は、子どもたちが入って遊ぶ「泥んこ池」になる場所の石を拾って、湧き水ポイントから泥んこ池までつながる水路の改修作業を行いました。拾った石を水路の側面に固定していくことで、生きものが隠れる空間や、水が流れやすい環境を整えました。作業が終わってから、一時的に避難させていた生きものを、新しい環境へ戻しました。

ここで整備した泥んこ池は、ひだ木遊館 木っずテラスの屋外エリア「木っずヤード」にある「はだしのトレイル」を歩いてきた子どもたちが、最後に思いきり水や泥に触れて遊べる場所になります。

実はmorinosのひろばにも、はだしのトレイルがあります。子どもたちは、土や草、木、石の感触を足の裏で感じながら、自然の豊かさや面白さを発見しています。今回の湧き水池づくりは、そうしたmorinosの考え方を取り入れながら、生きものの居場所であると同時に、子どもたちが五感を使って自然を楽しめる遊び場をつくる取り組みでもありました。

これから湧き水池に、どんな生きものたちが集まってくるのか楽しみです。ご参加いただいた皆さん、ひだ木遊館 木っずテラスのスタッフの皆さん、ありがとうございました。



完成した泥んこ池で記念撮影

morinosHPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube
「morinosチャンネル」

『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

6

ニホンジカの個体数管理を目的とした捕獲等

■事業目的

- 急速に生息数や生息域を拡大するニホンジカの捕獲等を促進するとともに、捕獲の担い手を育成・確保することで、農林水産業、森林環境その他の生態系及び日常生活等への被害低減を図ります。

■事業概要

- 市町村等が行う個体数調整を目的とした捕獲や、第一種銃猟免許の取得、地域ぐるみの捕獲体制の整備を支援するとともに、個体数密度が高い地域においてニホンジカを捕獲する指定管理鳥獣捕獲を行うほか、免許取得後3年未満の狩猟者のわな捕獲技術の向上を図る研修を実施します。
- 個体数管理を目的とした捕獲は、県が策定した第二種特定鳥獣管理計画（ニホンジカ）（第4期）に基づき実施するものであり、市町村等の実施にあたっては県が定額を支援します。

■市町村の捕獲等に対する支援

①ニホンジカの個体数調整捕獲に対する支援

- 捕獲報償費 15 千円／頭（特別区域※は20千円） ※伊吹山麓、乗鞍山麓
- 捕獲の安全確保等に必要な物品購入費 200 千円以内

②地域ぐるみの捕獲体制の整備

- わな捕獲を中心とした捕獲体制の整備に対する支援（1,000 千円以内／地区）

③被害防止捕獲等に従事する市町村等職員の育成に対する助成

- 銃猟免許の新規取得、猟銃の所持許可・銃器等の購入に係る経費 上限500 千円／人

■わなによる捕獲技術の向上に係る研修会の開催

■県が主体となったニホンジカの捕獲（指定管理鳥獣捕獲）

■取組状況

- 令和7年度は、22市町村を支援し、6,370頭（うち特別区域174頭）を捕獲したほか、指定管理鳥獣捕獲事業で561頭を捕獲し、計6,931頭を捕獲しました。
- また、4地区においてわな捕獲を中心とした集落ぐるみの捕獲体制の整備を行ったほか、わな捕獲技術向上研修会を2回実施しました。（参加者28名）
- 今後は、さらに捕獲を強化するとともに、引き続き捕獲体制の整備を進めていきます。



わな捕獲技術向上研修会の様子



ニホンジカの駆除成果



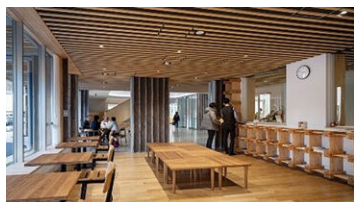
施設全景

施設の概要

事業年度	令和5年度～令和7年度
事業主体	白川町
構造	地上2階建（1階 鉄筋コンクリート造 2階 木造一部鉄筋コンクリート造）
延床面積	2,607.35㎡
施設用途	庁舎
木材使用量 使用樹種	306㎡ ヒノキ（白川町産材100%）
全体事業費	1,837,266千円
助成額	ぎふ県産材利用促進施設等整備事業 30,000千円
設計者	株式会社石本建築事務所 名古屋オフィス
施工業者	松井建設株式会社 名古屋支店
工期	令和6年3月25日～令和7年11月26日



<2階ラウンジ>



<1階しらかわラウンジ>



<2階しらかわてらす>

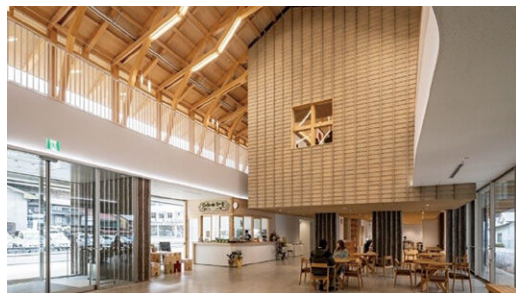
施設の経緯

旧庁舎は昭和32年に建設され、築後70年近くが経過しており、耐震性能の不足、土砂災害の危険性、施設の老朽化といったさまざまな課題を抱えていました。

新庁舎は、「町民の安心を支え 人と環境にやさしい庁舎」を基本理念に整備されました。課題であった防災機能の強化はもちろん、ワンストップ窓口やエレベーターの設置により利便性の向上を図るとともに、ラウンジやカフェ、テラスなど来庁者が自由に利用できる空間を整備し、交流を育む場としての役割も担っています。



<東濃松のトラス天井>



<1階エントランスホール>

ここに注目!!

エントランスホールに入ると松の香りが漂い、白川町産の東濃松をふんだんに使用したトラス構造のアーチ天井が、訪れる人を温かく迎え入れます。

利用者の様子

エントランスホールとしらかわラウンジは平日20時まで開放しており、子どもからお年寄りまで多くの方に利用されています。休日もカフェで団らんしたり、勉強したり、バスを待ったりと、さまざまな用途で町民の方々に利用されています。

問い合わせ先

白川町役場 企画財政課
TEL:0574-72-1311



森林と人を 活かす知恵 165

子どもの作業用手袋を考える

木工、工作に使う手袋の選び方

岐阜県立森林文化アカデミー 木工専攻 准教授 ● 前野 健

今年の夏は学生達と一緒に、子ども達が参加する木工キャンプやワークショップをいくつか行いました。保育園では木の枝から動物の作品づくりを。小中学生を対象にしたプログラムでは、木のお皿や椅子(スツール)づくりをしました。これらのプログラムでは、ノコギリやナイフや彫刻刀、鉋(かん)などの様々な種類の刃物を使います。

このような刃物を使った工作を行うとき、少し前までは手の怪我を防止するために、「軍手」を使うことが一般的でした。

○子ども用の軍手

近年、ワークウェアの量販店やアウトドアショップへ行くと、子ども用の軍手のラインナップの豊富さに驚かされます。サイズ展開を見てみると、可愛らしい幼児の手のひらの大きさで作られた物まで販売されています。

特に綿でできた軍手は熱に対しても強いので、キャンプで焚火をする際に、繊維が熱で溶けてしまうため、かえって火傷につながる恐れがあります。



子ども用耐切創手袋(左上)、ゴム引き手袋(右上)、綿の軍手(下)

手のひらに滑り止めが付いたものは、薪割り用に使えば、ナタやオノがすっぽ抜けるのを防ぐことができます。(道具を持つ手は、あえて「素手」にするのも有効ですね)

○子ども用の耐切創手袋

初めて子どもが刃物を使うときや、参加者が多数になるワークショップでは、耐切創性能を持った子ども用の手袋が安心感を与えてくれます。

耐切創手袋とは、切り裂きに強い繊維を使うことで、刃が触れても容易に切れない手袋のことです。

一方で、この手袋を使い続けていると、刃に触れることへの警戒心が薄れてしまうことが課題です。刃物慣れしていると思った子どもが、この手袋を外して作業をしたとたん、ナイフの刃を握って手を切ってしまうのです。

○作業性を上げる手袋

最近のワークショップで自分が好んで使っている手袋の1つが、手のひらがゴム引きで覆われている、薄手の作業用手袋です。先に紹介した軍手や耐切創の手袋は、使用している繊維やその機能上、生地が厚手になります。

そのため、夏場は暑くて子どもは外してしまったり、生地の厚みのために手に持った道具が動かし辛かったり、作業性の面でストレスになっている様子が多く見られました。



ゴム引きの手袋をはめて根気よく彫刻刀でお皿を彫る小学生

一方で、薄手のゴム引き手袋は手に道具を持つ感覚が素手に近く、道具も滑り辛くなるため、子ども達が不快感や作業性の悪さから、自ら手袋を外してしまうということも少なく感じます。

また、滑り止めの効いた手袋は、握る力をサポートしてくれるので手の疲労を軽減してくれます。

○機械作業での手袋は危険です!

一方で、電動工具を使う場合は、素手で作業を行うのが鉄則です。(例外はチェーンソー用グローブくらいです)繊維が触れた瞬間に手が巻き込まれてしまい、大きなケガにつながる恐れがあります。

作業用の手袋に選択肢が増えた今だからこそ、用途に合わせた手袋を選んで、子ども達とのアクティビティを安全に楽しんで下さい。



重大事故を避けるために機械は必ず素手で使う

下層植生タイプに基づくヒノキ人工林の生態的管理を考える(2)

森林研究所 渡邊 仁志

下層植生と表土流亡への間伐効果

本稿では前号に引き続き、ヒノキ林の下層植生に着目した森林管理の考え方を紹介します。表土流亡のリスクが低い植生タイプが明らかになったところで、下層植生の維持・回復に向けて、間伐がどのように寄与するかを複数の試験地で検証しました。

はじめに、従来の定性間伐（本数間伐率三〇％程度）では、光条件の改善が不十分で、下層植生の回復は限定的でした（図2の黒塗りシンボル）。林冠の再閉鎖が速やかに進み、草本層の再発達やリターの堆積が十分に得られず、表土流亡の抑止効果が小さいためです。これに対し、強度間伐（本数間伐率五〇％程度）、群状間伐（二〇㎡以上の小面積伐採）、列状間伐（六m幅以上、図省略）といった間伐では、光環境が大きく改善し、草本層を中心とした下層植生の回復が顕著に進みました（図2の白抜きシンボル）。これらの間伐手法は林床被覆の増加に寄与し、表土流亡の低減にも有効であると確認されました。

なお、急傾斜地やシカの多い地域では、間伐だけでは下層植生が十分に回

復しないことも明らかになりました。シカによる採食圧が高い場合には、防護柵などの対策が必要であり、間伐時に発生する枝条を林内に散布する作業は、短期的ではあるものの林床被覆を補い、表土流亡の抑止に寄与することが確認されています。

ただし、これらの手法には課題もあります。群状・列状間伐は、伐採箇所以外への波及効果が限定的であるという点です。また、概ね一〇年以内で林冠が再閉鎖するため、下層植生の動態を注視しながら間伐周期を設定することが求められます。実際には、こうしたこまめな頻度の間伐が可能かどうかを踏まえ、間伐率の上限や間伐指標の見直しも検討すべき課題だといえます。その際には、林分の気象害耐性や防災機能に対する安全性を担保するためのデータ蓄積が不可欠であることはいうまでもありません。

表土流亡を防ぐためのヒノキ人工林の管理方法

以上の知見を踏まえ、過密なヒノキ人工林の生態的な管理方法を整理すると、まず下層植生タイプの把握が出发点となります。これは、林木の成長を

主目的とする保育間伐とは異なり、光環境の維持を目的とした伐採を行うための判断材料として重要です。

はじめに、下層植生タイプがシダ型、ササ型、草本型であれば、従来の定性間伐を実施することが望ましいと考えられます。これらのタイプでは林床被覆が良好に保たれており、表土流亡のリスクが低いからです（前号の図1）。

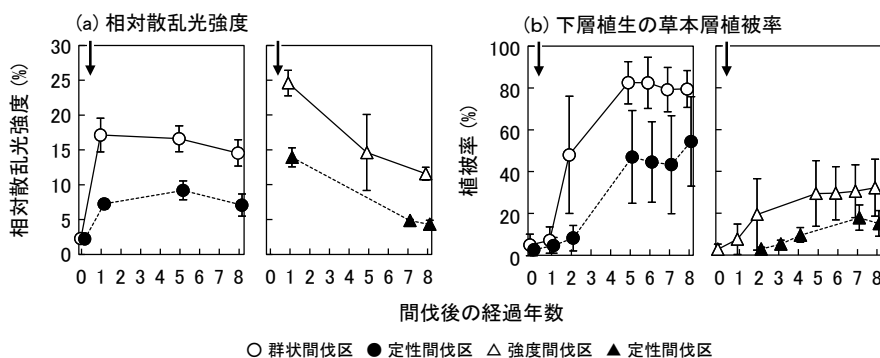


図2 間伐手法別の相対散乱光強度 (a)、および草本層植被率 (b) の推移
下向き矢印は間伐の時期、上下の棒は標準偏差を示す。

定期的な間伐により、下層植生を維持しつつ、水土保全機能を損なうことなく森林を管理できます。

一方、低木型では表土流亡の抑止効果が限定的であるため（図1）、光環境の改善を目的として強度間伐、群状間伐、列状間伐などの積極的な手法を検討します。この際、既存の低木層の被覆効果を損なわないよう、刈り払いなどの付帯作業は必要最小限にとどめることが重要です。

貧植生型は表土流亡の抑止効果が極めて低く、最も注意が必要です（図1）。光環境を大きく改善するため、強度間伐、群状間伐、列状間伐を導入します。さらに、間伐木の枝条散布や防獣柵などを併用し、下層植生の回復を早急に促す必要があります。

さらに、次の間伐周期に下層植生の状態を再確認し、基準を満たさない場合には原因精査と追加対策を講じる必要があります。一方、植生が回復した林分は、この時点で木材生産と環境保全にゾーニングすることで、すべての森林で水土保全機能を保持しつつ、持続的な資源利用が両立できると考えられます。

最後に、再確認の際、林内に高木性種が侵入した場合にはじめて、混交林化や広葉樹林化の可能性が生まれますが、その実現には依然多くのハードルがあることを付記します。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0575-33-2685

森林研究所まで

揖斐管内における主伐・再造林に対する支援

揖斐農林事務所 林業課 下野俊彦



【管内の概要】

揖斐農林事務所管内では、10 歳級以上の人工林が 16,493 ha（人工林の 76.9%）あり、今後、森林の若返りを図っていく必要があります。

【管内における主伐・再造林の実績】

管内及び揖斐郡森林組合における主伐・再造林の実績は表のとおりです。
現在、揖斐郡森林組合では、組合員（個人）の所有森林を対象とした主伐・再造林を進めています。今回、揖斐郡森林組合の取組に対する支援について紹介します。

表 管内及び揖斐郡森林組合の主伐・再造林の実施状況

年 度	R4	R5	R6	R7	R8
揖斐管内	1.37	5.52	7.70	3.40	12.74
うち森林組合	0.00	0.00	2.28	3.40	9.27

（※）R8 は計画

【支援内容】

●補助事業の普及啓発

揖斐郡森林組合は、令和 3 年度まで、一部、公有林での主伐・再造林は行っていました。組合事業の 9 割以上は、補助事業を活用した間伐が主体でした。

令和 6 年度から、これまでの「農山漁村地域整備交付金事業」に加え、「林相転換特別対策（花粉発生源対策）」が創設され、県が指定した「スギ人工林伐採重点区域」内で主伐・再造林を一層推進することが可能となりました。

前述の補助事業発足当初から、積極的に主伐・再造林に向けた働きかけを行うとともに、組合担当者で現場確認、「伐採重点区域」の見直しを行ってきました。

この結果、揖斐郡森林組合では、私有林において、計画的な主伐・再造林に主体的に取り組むようになりました。

●現地での支援

①伐採区域に関する助言

主伐・再造林を進めるためには、作業システムの検討とあわせて、伐倒・集材を効率的に行うことができる区域を特定する必要があります。そこで、



（写真①）一部区域から除外した主伐・再造林実施状況

事業計画地で森林技術者への指示が手戻りとならないように、森林施業プランナーとともに現地踏査を行いました。
この結果、図上計画では判らなかった次のような問題点が見つかりました。
・地形を考慮すると、2 段集材を行わなければならない区域がある。
・2 段集材を行う必要がある区域内に崩壊跡地とみられる箇所がある。
これらの理由により、一部区域では

主伐・再造林は不向きと判断し、区域からの除外を提案しました。

②獣害対策に関する助言

当管内は、ニホンジカの生息密度が他地域に比べ、非常に高いため、雪の多寡に関わらず、再造林を進めるうえで、獣害対策が必要な地域です。

令和 7 年度まで幼齢木保護（単木保護）を実施してきましたが、補助事業の県単高上げの見直しなどにより、令和 8 年度以降は防護柵も視野に入れて考える必要が出てきました。

このことから、今年度、谷汲地域で計画している一事業地で「防護柵の設置」を考えていました。

しかし、当該事業地は、公道・森林作業道により分断され、事業地が細かく分けられる状態となっており（当初検討図面参照）、森林組合から獣害対



（当初検討図面）

策をどのように行うべきかについて相談がありました。

獣害対策について、補助事業を考慮した経費的な面や森林総合研究所の「シカ被害地における防護柵保守の効果の実証試験」に関する資料などを参考に現地での指導を行いました。

この結果、防護柵を実施するのに「適した区域」と「適さない区域」とを区分けし、防護柵と幼齢木保護のハイブリッドで獣害対策を行うことを提案しました。

【課題】

① 獣害対策における課題



(写真②) 積雪により支柱がめり込み、柵の高さが低くなった状況



(写真③) 雪で支柱が折れた単木保護資材 (写真)

ニホンジカの生息密度が高く、特に、積雪量の多い地域での獣害対策は『補助事業で行うことができる守りの対策』のみでは非常に困難です。

このような地域では、捕獲を含めた「攻めの対策」を行う必要があります。捕獲を行う場合、猟友会との調整などが必要となります。

② 補助事業上の課題

防護柵など従来の獣害対策で事業地確保を行うためには、比較的、積雪量の少ない地域で主伐・再造林に取り組んでいく必要があります。

管内で比較的積雪量が少なく人工林率の高い谷汲地域は、ヒノキ人工林が約7割を占めており、『林相転換特別対策』は活用できないという課題があります。

③ その他の課題

保安林で主伐・再造林に取り組んでいくためには、指定施業要件（植栽本数の見直し）が必要となり、組合の森林施業プランナーと林業普及指導員との更なる連携が必要となります。

【今後の取組方針】

主伐・再造林を計画的に進めていくため、課題解決に向けて、林業普及指導員として、事業地確保のキーマンである森林施業プランナーとこれまで以上に連携を深め、事業地確保から施業実施までを積極的に支援していきます。

● 詳しい内容を知りたい方は

TEL0585-23-1111

揖斐農林事務所まで

森林技術開発・支援センター 林業普及通信

施業プランナー育成研修生への巡回指導

施業プランナー育成研修では、プランナー業務を行う上で必要な基礎的事項を学んでもらいます。上半期に12回の座学と演習を経て、その後、OJT研修として、職場の上司や県林業普及指導員等の助言を受け、研修生の担当する対象森林の施業計画を作成します。

今回、研修生の一人からOJT研修対象の間伐事業地を近日中に着手するという相談を受けたので、これからの現地演習で学ぶ林分調査方法について、現地機関の林業普及指導員と事前に巡回指導を行いました。

調査実施の留意点として、①樹高は目視ではなく、測定器具を使用すること、②調査プロットは樹高程度の20m×20mとすることが望ましいことがあります。担当する林業普及指導員と打ち合わせ、樹高はバーテックスにより測定することにしました。

既に森林作業道は開設されましたが、縦断勾配10%以内を意識して作設することを研修生に説明しながら林分調査をしました。



林分調査の実施状況

事業地の面積は3.5ha、林齢32年生の施業履歴が明確なヒノキの一斉林ですが、一般的に斜面上部の方が、地位（土地の生産力）が低くなるため、成長が劣る傾向にあります。そこでプロットは、搬出区域と斜面上部の切り捨てになる区域にそれぞれ1箇所づつ、等高線に沿って20×10mの帯状に設定しました（2箇所で20×20mを確保）。研修生は調査結果を踏まえ、間伐木の選木等を行います。間伐方針を確認し、助言をして巡回指導を終えました。

● 詳しい内容を知りたい方は
TEL0585-23-1111
森林文化アカデミー
森林技術開発支援センター

普及企画係まで



私、この現場の担当者です！



森林土木の現場で鍛えられながら、日々レベルアップ中の若手県職員のご紹介

所属・職氏名	西濃農林事務所（技師 武山颯奈）
工事名・場所	復旧治山事業倉羅谷地区工事（海津市南濃町）
工事内容	令和3年の豪雨により蛇行した溪流の復旧
ひとこと	令和7年度に入庁し、今年度より治山2年目となりました。 まだわからないことが山ほどありますが、栗山係長の優しい指導のもと、日々勉強中です。 設計図面の段階では構造物のサイズ感がうまくイメージできないため、段階確認の際に打ちあがった構造物を見て、未だにその大きさに驚いてしまいます。 無事に工事が完了出来るように、これからも頑張ります。



第7巻 第5号

岐阜県の林業

昭和32年9月15日

— 伸びる — 木材の利用



神岡中学校講堂の外観

岐阜県の林業

隔月 15日 発行
発行所 岐阜県山林協会
岐阜市北八ツ寺町
電話 304014
編集人 森 三 郎

回顧 あの日、あの時

木の利用（昭和32年9月号）

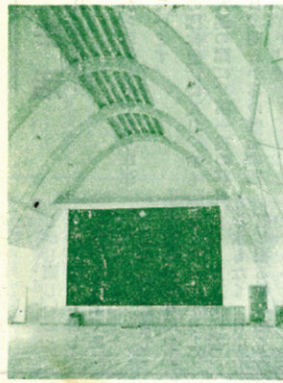
戦後の大径材不足を補うため、小径木の加工技術を紹介した記事。事例で挙げられた旧神岡町（現飛騨市）に完成した講堂は主要構造に大断面集成材を使い、屋根は雪おろしの負担軽減や底の折れ防止のためアーチ状となっており、当時は先進的な設計だったのでは。今は取り壊されているようですが、技術者たちが知恵を絞って時代ごとの課題を技術で乗り越えてきた歴史は、これからの「都市（まち）の木造化」を推進するうえでも大切な足跡です。

例年ならば、夏場は木炭が値下りして一番の買い時といわれているのに、今年はどうしたことか高値がつきました。また、九月下旬からの炭焼シーズンをひかえ、山元は原木難で生産コストは上がるだろう、という話もきかれ、このところ今冬の木炭相場は井戸端会議の話題のタネです。今まで木材不足といわれる中にも、広葉樹は割合に潤沢だといわれる中にも、それが原木不足という声が出てきたのはなぜでしょう。

昨三十一年度、わが国では用材のみで一億九四百万石もの立木が伐採されました。これは戦前の二倍、既開発林の用材かつたようなものが広く木材として利用されるようになりました。広葉樹も良い値段でバルブや繊維板などの材料としてどん／＼取引されはじまりました。だから、自然に

技術の導入もあつて、材質の悪い小径材や薪炭材など、今までかえりみられなかつたようなものが広く木材として利用されるようになりました。広葉樹も良い値段でバルブや繊維板などの材料としてどん／＼取引されはじまりました。だから、自然に

集材 木材を家屋の梁と橋桁など、強い力のかかるところに使うとき、大きい節があると折れやすくて具合の悪いものです。また近ごろのように大径木が少なくなると大きな家や橋を作るときは、これをかぎながら板にし、ノリで繊維方向を平たものが集成材です。このように節などの欠点の、均一な材質の木材に集材を原料にして、望みの曲集成材を作ることでもできます。建築土木用材、車輦造などに使われています。



同 講 堂 内 部

工場土場の広葉樹

開催日	行事名等	内 容 等 (概要、定員、受講料、申込期限など)	場 所 申込(問合せ)先/TEL
10月27日(火)~ 10月28日(水)	簡易架線集材等機械の 運転業務特別教育	●講習時間：27日 学科 8:50~16:00 28日 実技 8:30~17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：57,530円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は10名単位の開催となりますので実技受講者が20名以上の場合は翌日になりますのでお問合せ下さい。)	27日(学科) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 28日(実技) 中濃地内山林(予定) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月4日(水)~ 11月6日(金)	伐木等の業務 (チェーンソー)に係る 特別教育	●講習時間：4日 学科 8:50~17:10 5日 学・実 8:50~12:30 6日 実技 8:30~17:10 ●申 込：開催日の10日前まで ●受講料：24,530円(本代含む)(振込み) ●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)	4日(学科) 5日(学・実) ぎふ森林文化センター (岐阜市六条江東2-5-6) 6日(実技) (株)木の国 土場 (山県市椎倉203-1) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195
11月10日(火)~ 11月13日(金)	フォークリフト運転 技能講習 受講資格 自動車普通運転免許 所持者	●講習時間： 1日目：学科 8:50~17:05 学科試験 17:10~18:10 2~4日目：実技・試験 8:00~17:30 ●申 込：開催日の20日前まで ●受講料：32,450円(本代含む)(振込み) ●定 員：20名(定員になり次第締め切ります。)	(学科) 伊自良中央公民館 (山県市大門850-67) (実技) ぎふ農協旧伊自良共選場 (山県市洞田127-5) ----- 林材業労災防止協会 岐阜県支部 電話 058-275-0192 FAX 058-201-1195



コラム

「漢(おとこ)は拳だ!」父の言葉を胸に、4年前からボクシングジムに通い始めました。

練習の甲斐あって非公式地下格闘技界で不動の地位を築いたつもりですが、残念ながらそのような団体は存在しません。脳内で開催される大会では無敗を維持しており、自称「岐阜県王者」として活動しています。

ボクシングも仕事も、成果は日々の積み重ねの先にあると感じています。これからコツコツと努力を重ね、心身ともに成長していきたいと思います。王座防衛戦の相手が見つからず困っています。挑戦者求む。

「森林のたより」編集委員 県産材流通課 安田 有輝

11月号予定

イベント情報

連載

●山の歳時記(255)

清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(166)

木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(162)

清流の国ぎふ森林・環境税

森林・林業技術

●研究・普及コーナー

市況情報

その他

11月1日
発行

木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所
単位:円(1㎡当たり)

回数 共販所名	樹種	長さ	径	平均値	高値	気配
第1905回 岐阜共販所	すぎ	3 m	16~18cm	14,600	—	→
		4 m	16~18cm	13,500	—	→
			20~22cm	14,500	—	→
			24~28cm	14,300	—	→
			30cm以上	13,000	—	→
	ひのき	6 m	16~22cm	17,000	—	→
		3 m	16~18cm	19,500	—	↘
			20cm以上	18,000	—	↘
		4 m	16~22cm	20,000	—	↘
			24~28cm	19,000	—	↘
			30cm以上	18,000	—	↘
8月4日	6 m	16~18cm	—	—	—	→
第1510回 飛騨共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,700	—	→
		4 m	24~28cm	14,800	—	→
			30cm以上元	14,000	—	→
	ひのき	3 m	16~18cm	19,900	—	→
		4 m	20~22cm	19,200	—	→
			24~28cm	19,200	—	→
			30cm以上	25,000	—	→
		6 m	16~20cm	—	—	→
	ひめこ	4 m	24~28cm	12,000	—	↘
			30cm以上	13,000	—	↘
8月26日	5 m	40cm以上	—	—	—	↘
第1844回 東濃共販所	すぎ	3 m	16~22cm	14,000	—	→
		4 m	24~28cm	14,500	—	→
			30cm以上元	15,000	—	→
	ひのき	3 m	16~22cm	19,500	27,000	↗
			24~28cm	19,500	27,000	→
			30cm以上元	28,000	—	→
		4 m	14cm	16,000	—	→
			16~22cm	19,600	—	→
			24~28cm	19,500	32,000	→
			30cm以上元	29,000	46,000	↗
		6 m	18~22cm	29,500	—	→
8月20日	まつ	4 m	30cm以上元	—	—	→

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

【商況】

スギ・ヒノキの4m元木・尺上良質材は出材が少なく、入札は平常で価格は保合。構造材向け並材(3m・4m)は品薄から強保合。ヒノキ4m元木良質材も出材が少なく保合。3m中目材は引き合いが強く保合。構造材向け並材は3mでやや買い気。4m材は依然として弱含み。合板向け材は価格は保合で納材順調。スギラミナ向け3m・4m材は強保合。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材はいずれも原木不足感が強く、出材をお願いします。(岐阜)

スギ・ヒノキとも並材は保合で推移している。一方、ヒノキの多節材やスギ大径木は不振である。スギ4m良質材は猛暑の影響により弱保合。ヒノキ4mの良質大径材は強保合を維持している。広葉樹は高温により品質低下などの影響から、全体的に弱保合で推移している。クリは全体的に弱含み傾向が続き3m・4mが不振であるため、2.2m造材をお勧めします。(飛騨)

スギ・ヒノキの並材は出材量が減少したが、良質材の堅調な取引により市場全体の相場を支え、全体としては活気ある展開となった。ヒノキは、4m元木・中目の良質材は保合。3m元木の尺上材・柱役物材および中目材は引き合いが強く強保合。構造材向けは3m材が保合、4m材は弱保合。2m尺上良質材は保合を維持。20cm未満は弱含み。スギは、4m元木・中目良質材は保合。24cm以上の構造材は品薄で強保合。3m中目材も品薄感から強保合。一方、目荒などの並材は価格の伸び悩み。合板向けは価格は保合で納材は順調、ラミナ向けも価格は保合で推移。(東濃)

記念市を11月12日(木)岐阜優良材展(東濃)、12月2日(水)広葉樹祭り(飛騨)を開催します。

製品卸売標準価格(8月期)

単位:円

樹種	用途	寸法(mm)			等級	m ³ 当り 価格	(本(枚)単価)	前月 比較
		長	巾	高				
スギ	柱	3000	105	105	1等	68,000	(2,249)	→
	間柱	3000	105	30	1等	70,000	(662)	→
ヒノキ	土台	4000	105	105	特等	76,000	(3,352)	→
	柱	3000	120	120	特等	75,000	(3,240)	→
		6000	120	120	特等	155,000	(13,392)	→
W集 ウ成 ッド材	柱	3000	105	105	国産5層	91,000	(3,000)	→
		3000	120	120	国産5層	93,000	(4,000)	→

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

外材市況(8月期)

単位:100円(1㎡当たり)

樹種	規格	価格	前月比較
米松	SSタイプ	450	→
	コースト(目荒)	450	↑
米楯	ヘム(アラスカ産)	486	→
米ひば	ポール	—	—

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

カーボン・オフセット

自らの温室効果ガスの排出量を他の場所の削減量で埋め合わせて相殺すること。主に先進国や大企業が、新興国や中小企業、農林水産業へ資金を提供し、排出量削減の取組を資金面で支援する代わりに、その取組で削減できた量を自らの削減量にできる仕組み。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典